

2015 年 11 月 11 日発行

## きらきら仲間の皆様へ

年末、いよいよ慌ただしくて、でも、なんだか明るい年に向けていっしょうけんめい走っているような、不思議な忙しさにあふれる時期になりました。寒いし。

こんにちは、みなさまお元気ですか。風邪などひいたり、体調を崩したりしておられませんか。だいじょうぶ？ 無理は禁物ですよ。^^;

さて、12 月 13 日の日曜日は、できれば明るい内ずっと、無理なら午前か午後のいずれか、どうぞおつきあいくださいね。みんなあつまって、楽しく一日過ごしましょう。

### 12 月 13 日(日) 第 6 回きらきら基金助成事業のメニューです。

なんと、場所は寺町通り商店街、そして、いつもの桑名市総合福祉会館です。もちろん、市民活動団体のアピールや報告がありますよ。

- **サンタの行進** 午前 10 時 桑名市総合福祉会館受付  
午前 11 時 寺町通り商店街南入口サンタ集合・行進  
午前 12 時 自由解散  
伊藤なるたか 桑名市長さんが来てくれます。
- **募金・感謝式** 午後 1 時 30 分 オープニング・ご挨拶  
カエル・こぶた & 小熊の募金・ご寄附感謝セレモニー  
三重県 NPO 班さんが来てくれます。
- **団体助成** 午後 2 時前頃 市民活動団体プレゼンテーション  
午後 3 時前頃 100 円単位の寄附投票  
きらきら基金代表の小笠原もプレゼンさせていただきます。
- **地域円卓会議** 午後 3 時頃 「企業の社会貢献活動について」  
水谷俊郎東員町長さんが来てくれます。
- **市民活動タイム** 午後 4 時 40 分頃 助成事業報告・アピールタイム  
市民活動団体の皆さんが前にでてアピールします。
- **助成金授受** 午後 5 時 20 分頃 助成金の授受をします。  
地域の市民活動の発展に寄与された皆様への特別賞  
開催にご尽力いただきました皆様への感謝状

● 紙のサンタさんの衣装を、100 円均一のお店で買ってきました。

男性用 80 着、女性用サンタエプロン 70 着、  
小学校低学年まで(身長 120 センチ未満)の男児用 20 着、女児用 30 着  
帽子 200 個、ヒゲ 16 個、などなどを用意しました。

12 月 13 日(土)午前のサンタの行進の受付で受け取ってもらい、  
行進が終わったら、持ち帰ってもらって、ぜひ楽しんで使ってみてくださいね。

助成への寄附金(500 円分)と合わせて、参加費は 1,000 円。高いですね、すいません。  
このうち、寄附分の 500 円は、午後に行う「団体助成の寄附投票」として使えます。

それと、子ども達からは、ほんとうはもらうつもりはないのです…  
あと、なんとかプレゼントを用意したいのですけれど、これはなかなか…



● 先日、柿狩りをして、参加費をご寄附いただきました。

柿狩りに集まってくれたみなさまから 13,000 円ほど参加費をいただきました。  
きらきら基金に入れて、助成の原資にさせていただきます。ありがとうございました。

カエル・こぶた & 小熊の募金箱やご寄附を、当日までにお届けいただければ幸いです。  
あるいは当日ご持参いただいても、とてもたすかります。よろしくお願ひいたします。

こちらの講座に振り込むと、一定の条件のもとで、税制の優遇を受けてもらえます。  
ご寄附振込先口座 ゆうちょ銀行 口座名 市民活動応援☆きらきら基金  
口座番号 00800-8-198866

● 今回第 6 回のきらきら基金助成の「団体助成」は、寄附投票方式です。

おなじみになりました、寄附投票方式。10 団体ほどのみなさんのプレゼンを受けて、  
ご参加いただいた皆さんの寄付投票結果で助成金を按分する「団体助成」です。

「団体助成」でプレゼンいただく団体の皆さんは、今回はじめてきらきら基金に  
エントリーいただいた皆様です。かつよい応援をどうかお願ひいたします。

午前中のサンタの行進の参加費のうち、500 円分の助成金へのご寄附は、  
午後の団体助成の「寄附投票券分」として、お使いいただけます。(\*^0^\*)



● 桑名員弁地域円卓会議では、企業の社会貢献活動について話し合います。

東員町の、水谷俊郎町長にメインゲストにおいでいただき、企業や行政、NPO の人たちで、この地域の、企業の社会貢献について話し合います。

はじめに服部から話題提供をさせていただき、そこから話し進めていきます。  
市民活動の社会貢献とあわせて、地域の企業が行う社会貢献をすることで、  
たくさんの人たちがこの地域を支えていることを知ります。

それらの企業の活動と市民活動の接点をも考えていきたいと思ひますし、  
効果があれば、ときにはいっしょにまちを支えていく方法は話したいと思ひます。

● ご活躍されている市民活動団体のみなさんの姿を見られます。

桑名市総合福祉会館できらきら助成の報告と、活動アピールをしていただきます。

前回、前々回に、「パートナー事業助成」や「きらきら団体助成」を受けていただいたみなさま、ありがとうございました。  
助成の成果のご報告を、短い時間ですけれど、ぜひ、お願いいたします。^^;

また、おいでいただいた皆様で、ご自身の市民活動団体や事業のアピールも  
どうぞ、よろしくお願ひいたします。^^;



● ご寄附いただける皆様、ご寄附いただいた皆様、当日支えていただける皆様、開催にご尽力いただいた皆様、ほんとうにありがとうございます。

この桑名・員弁地域の市民活動団体がしっかりとがんばっていただくことで、  
すてきで魅力あふれる元気なまちでいられればと思ひています。

心からの感謝を込めて、感謝状、特別賞、そして助成金をお贈りします。

ということで、きらきら仲間の皆様、高校生のみなさまも、当日はどうぞおいでいただき、  
お昼は、桑名地区更生保護女性会のみなさんからのおにぎり汁物を食べていただき、  
元気に、第6回の助成事業を楽しんでくださいな。

## 郷土史家 西羽晃氏の歴史寄稿

幕末・維新の桑名藩シリーズ 47 小沢 圭次郎について

小沢圭次郎は天保13(1842)年、桑名藩の藩医である小沢長安の次男として、江戸築地の桑名藩下屋敷で生まれました。この下屋敷は松平定信が幕府から拝領した屋敷で、定信が設計して浴恩園と名付けられていました。圭次郎は江戸で漢学・医学・蘭学を学び、21歳の時に長崎に遊学し、のちに大坂の緒方洪庵の塾で英語も学びました。慶応3(1867)年12月に江戸から桑名へ来ました。翌年正月には桑名城は新政府軍に明け渡され、彼も寺院に収容されて、謹慎しました。謹慎中も彼は英語を独習しています。

謹慎が解かれてからは、自宅と大矢知で英語を教えています。しかし桑名藩の学校では「漢学こそが学問であり、西洋の学問は学問でない」という風潮がありました。そのため彼は明治3(1870)年に上京し、4年11月9日に海軍兵学寮に出仕、のち文部省字書取調掛、東京師範学校校長心得及び同校長補などを経て、12年3月から19年5月まで東京学士会書記を勤めています。その間に14年5月からは文部省御用掛を兼務しています。

東京では新しい首都を建設するため、江戸時代からの大名屋敷とそれに付随する庭園が次々と壊されていきました。彼が生まれ育った浴恩園も海軍の施設となって、破壊されました。このような現状を目のあたりにして、職務の余暇に古い庭園を記録し、資料を収集しました。

19年に退職してからは専ら庭園研究に励み、70歳になった44年から東京府立園芸学校(現東京都立園芸高校)の講師となっています。大正4(1915)年に「明治庭園記」を発表しています。ここには和風庭園の詳細な記録、写真、図面が載せられて、現在では失われた庭園も多く、貴重な資料となっています。

彼は単なる庭園史の研究家でなく、自らも庭園の設景にあたっています。代表作には大阪天王寺公園内の和風庭園、ロンドンの日英博覧会の庭園、桑名の九華公園、高松の栗林公園などです。東京の日比谷公園の設景コンペに和風庭園を応募しましたが、政府は洋風庭園を採用したので、彼の提案は採用されませんでした。

彼は若いころから西洋の学問を学びましたが、江戸時代の武士らしく、学問の基礎は漢学であり酔園と号して漢詩文集「晩成堂詩草」を書いています。最初西洋医学を志したようですが、途中から和風庭園の研究者になったのは、前回に書いた遠藤利貞のように戊辰戦争で負けた桑名藩士の意地があり、日本古来の和風文化を否定する明治政府への反抗心があったと私は思います。

- 参考文献 「明治庭園記」(小沢圭二郎著 1919年 『日本園芸史』所収)  
『加太邦憲自歴譜』(加太邦憲著 1931年 加太重邦発行)  
『創立六十年』(東京文理大学編 1931年)  
『日本公園緑地発達史』(佐藤昌著 1977年 榊都市計画研究所)  
「小沢圭次郎学寮出仕の達」(国立公文書館 アジア歴史資料センター所蔵)  
「東京学士会院年報要略」(国立公文書館 アジア歴史資料センター所蔵)